



ふくせんレポート

2025
9|2

第22号

1・2面	令和7年度定時社員総会
3・4面	第6回福祉用具専門相談員研究大会
5・6面	バリアフリー 2025
6・8面	本部活動報告

※「知識PLUS」「住宅改修事例」は休載させていただきます。

令和7年度定時社員総会開催(6/20 in東京)

信頼を取り戻す組織活動の推進を誓う

去る6月20日(金)、本会は令和7年度定時社員総会を開催した。台東区浅草橋で開催された「第6回福祉用具専門相談員研究大会」(3頁〜4頁)が盛会裏に閉幕した翌日に、JRR田町駅近くのTKP田町カンファレンスセンターで代議員及び理事、賛助会員が参加し、議案の令和6年度決算報告及び令和6年度事業報告が原案どおり可決、承認された。

岩元理事長は開会の挨拶冒頭で、第6回の開催となった研究大会を副大会長として迎え、福祉用具専門相談員の資質向上と地位の確立を推進してきた者として、「ふくせん会員をはじめ多くの関係者の支援を受けて、大会がここまで来たかと自負するところがある。」と述べた。

しかしながら一方で、「昨年度発生したブロック会員による経費の横領事案、さらに会員による不同意わい



岩元 文雄氏 本会理事長
(いわもと ふみお)

せつ事件という、決して看過できない二つの不祥事案が発生した。これらの不祥事は、関係者の皆さま、そして長年にわたり活動を支えてくださった多くの会員の皆さまの信頼を、結果として裏切ることになったこと、また、これらの不祥事の発生を防止できなかったことについて、理事長としての責任を痛感している。」として謝罪した。また、ふくせん会員に対して「組織として、そして一人ひとりの会員として、あらためて倫理観と責任の重さを見つめなおす時が来ている」と指摘した。さらに、ふくせんとしての再発防止に向けて「倫理綱領の再確認をはじめとして、会員に対する懲戒規程の整備等について理事會として議論を重ねている」ことを報告した。最後に、「こうした取り組みを迅速かつ着実に実行し、信頼を取



会場の様子。

り戻せるよう組織全体として真摯に努力していく」との決意を述べた。

【祝辞】

総会の開催に当たって、次の方々からご祝辞をいただいた。

厚生労働省老健局高齢者支援課

課長 峰村 浩司氏

衆議院議員 田村 憲久氏

衆議院議員 竹内 譲氏

衆議院議員 沼崎 満子氏

参議院議員 伊藤 孝江氏